

高等学校進路説明会に参加して (横浜市私立秀英高等学校)



説明に熱心に耳を傾ける生徒と保護者



教職員からの質問に答える所長

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所(所長 荒木3陸佐)は、6月27日(土) 横浜市の私立秀英高等学校(しゅえい)において開催された「進路説明会」に参加して、自衛隊の制度説明会を行った。

秀英高校は、毎年数名の生徒が一般曹候補生や自衛官候補生として入隊していることや、同校の市川校長は、茶道部の活動を通じて陸上自衛隊高等工科大学との親交もあり自衛隊の活動に対して理解ある高校で、本説明会には生徒2名、保護者1名及び進路担当や学年主任等の教諭3名が参加した。

自衛隊の職種や職域と一般曹候補生と自衛官候補生の制度の違いやそれぞれの魅力、部内選抜試験の種類やキャリアアップの仕組み等自衛隊の概要について所長自らが自身の経験談を交えながら説明を行った。

説明終了後には生徒や保護者のみならず教諭からも活発な質問があり、自衛隊に興味を示してもらえた様子で「自衛隊のイメージが大きく変わった」「とても魅力的な組織だと感じた」「進路選択の第1候補とした」という感想が寄せられた。

上大岡募集案内所では「今後も学校との連携を深め、多くの生徒や保護者、教職員に自衛隊の魅力を伝えていきたい」としている。

陸上自衛隊自衛官候補生修了式 「一緒に教育を受けた同期と別れるのは寂しい」



特科教導隊修了式の様子



横浜市出身の11名の新隊員

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所(所長 平原1陸尉)は、6月27日(土) 陸上自衛隊富士駐屯地特科教導隊で行われた自衛官候補生の修了式を見学した。当日は新型コロナウイルスの影響で、部内者のみの参加であったが厳粛な雰囲気の中で執り行われた。皆制服姿も凛々しく、入隊時と比べたくましくなっていた。今の心境を聞くと「ここで一緒に教育を受けた同期と別れるのは寂しい」と、多くの新隊員が答えた。最初は、横浜を離れ不安だった教育も隊内生活や訓練など同期と一緒に助け合いながら過ごすうちに、絆も深くなったようだ。広報官らは「教育隊での同期を忘れず、各任地で頑張れ」と激励していた。

横浜中央募集案内所は「各任地に配属される隊員と今後も連絡を取り合って、帰省の時に学校訪問などに協力してもらおうなど、募集広報活動につなげていきたい」としている。